

《県の認知症施策の取組》

地域での生活を支えるために

かながわオレンジ大使 (認知症本人大使)

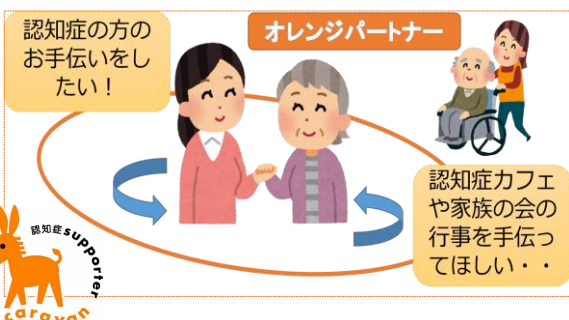
認知症の本人が思いを直接伝え、その人らしい活動を発信します。



認知症サポーター・ オレンジパートナーの養成

認知症の方やご家族を温かく見守る応援者です。

また、オレンジパートナーは、認知症サポーターで、認知症の人を支援するボランティア活動を行う方々です。



オレンジパートナー ネットワーク

支援者、地域の支援団体、活動拠点、企業、行政等が連携し、認知症の方やそのご家族に対するボランティア活動の場のマッチング支援をしています。

認知症コールセンター

「認知症の人と家族の会神奈川県支部」の認知症介護経験者等が、認知症全般に関する相談を受け付けています。



045-755-7031

認知症初期集中支援チーム

多職種がチームとなり、認知症サポート医等とも連携しながら、初期支援を行います。



認知症地域支援推進員

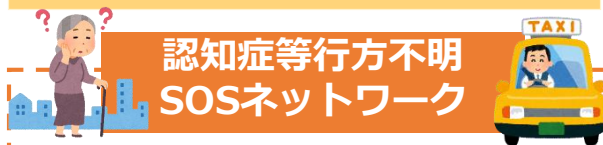
地域資源の情報を提供したり、専門的な相談を担う保健師や看護師等です。



地域包括支援センター

地域包括ケアシステムの実現に向けた中核的な機関です。

※上記は市町村を中心とした取組です。



認知症等行方不明 SOSネットワーク

行方不明者の搜索・発見・通報・保護や見守りに関するネットワークを、市町村と連携して構築しています。協力機関は、地域包括支援センターや社会福祉協議会、介護保険事業所、市町村により金融機関・コンビニ・公共交通機関等が含まれています。



早期発見・早期対応のために

認知症疾患医療センター



認知症の専門医療機関として、専門的な鑑別診断やピアサポート、地域連携などを行うもので、県内には26か所あります。

若年性認知症支援コーディネーター

若年性認知症の方の発症初期段階から、受診、就労、経済的支援等の相談に応じます。県内では、認知症疾患医療センター等10か所に配置されています。

若年性認知症訪問支援員

若年性認知症に関する理解促進強化のために、企業への広報活動や若年性認知症支援コーディネーターと連携して講義等を行います。

認知症サポート医



かかりつけ医の認知症診断等に関する相談役です。地域医師会や地域包括支援センターとの連携づくりへの協力等も担っています。



かかりつけ医



早期の発見・気づきを促し、専門医療機関へつなぐ役割を担っています。

※相談窓口をまとめているパンフレット



適切な医療・介護等の提供のために

認知症サポート医養成研修 認知症サポート医フォローアップ研修

かかりつけ医や初期集中支援チームへの助言等を行う「認知症サポート医」を養成しています。

認知症介護にかかわる職員への研修 (介護職員・看護職員等)

階層や職種ごとに必要となる知識・技術を習得するための研修を行っています。

研修を通じた人材育成



認知症初期集中支援チーム員研修 認知症初期集中支援フォローアップ研修

認知症初期集中支援チームに携わる専門職を対象に、国立長寿医療研究センターが実施する研修への派遣及びフォローアップ研修を行っています。

認知症対応力向上研修

(かかりつけ医・病院勤務の医療従事者・歯科医師・薬剤師・看護職員)

それぞれの職種に求められる、認知症の対応力を向上するための研修を行っています。

認知症地域支援推進員研修

支援体制の構築などについて、理解を深める研修を行っています。

認知症未病改善／普及啓発

高校生向け VR体験出張授業



小中学生向け認知症 ガイドブックの作成

認知症未病改善キャラバン

認知症未病改善に関する機器やサービスなどの体験機材等を搭載した車両で、県内すべての自治体を巡回訪問しています。



コグニサイズ

運動と認知トレーニングを組み合わせることで、脳への刺激を促すことが期待できるエクササイズです。

認知症未病改善 研究センター

認知症未病改善に関する研究等を行います。

健康と病気はグラデーションで連続的につながっているという未病コンセプトに基づき、未病改善に取り組んでいます。

認知症の未病改善のためには、食・運動・社会参加をはじめ、生活習慣の改善に取り組むことが大切です。

